

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
 【発行日】 令和 4 年 9 月 7 日(2022.9.7)

【公開番号】 特開 2021-7463(P2021-7463A)
 【公開日】 令和 3 年 1 月 28 日(2021.1.28)
 【年通号数】 公開・登録公報 2021-004
 【出願番号】 特願 2019-121391(P2019-121391)
 【国際特許分類】

A 63 F 7/02(2006.01)

【F I】

A 63 F 7/02 320

A 63 F 7/02 304 D

A 63 F 7/02 315 A

10

【手続補正書】
 【提出日】 令和 4 年 8 月 30 日(2022.8.30)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】 特許請求の範囲
 【補正対象項目名】 全文
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

20

遊技球の入球が可能な第 1 始動口と、
 遊技球の入球が可能な第 2 始動口と、

開放したときには遊技球が入球可能または入球容易となる大入賞口と、

前記第 1 始動口への入球を契機として、通常遊技より遊技者に有利な状態である特別遊技へ移行するか否かを判定する当否判定を実行する第 1 当否判定手段と、

30

前記第 2 始動口への入球を契機として、通常遊技より遊技者に有利な状態である特別遊技へ移行するか否かを判定する当否判定を実行する第 2 当否判定手段と、

前記第 1 当否判定手段による当否判定の結果を示すための第 1 特別図柄が変動表示される第 1 図柄表示装置と、

前記第 2 当否判定手段による当否判定の結果を示すための第 2 特別図柄が変動表示される第 2 図柄表示装置と、

前記第 1 当否判定手段による当否判定の結果または前記第 2 当否判定手段による当否判定の結果が大当たりである場合、大入賞口の開放を伴う特別遊技を実行する特別遊技制御手段と、

前記第 2 始動口への入球容易性に関する状態として、通常入球状態と、通常入球状態よりも入球容易性が高い入球容易状態とを有し、通常入球状態の設定または入球容易状態の設定が可能な入球状態設定手段と、

40

前記第 1 特別図柄または前記第 2 特別図柄の変動表示に対応する装飾図柄による変動演出を含む演出内容が表示される演出表示装置と、

前記演出内容を決定する演出決定手段と、

を備え、

前記装飾図柄は、相対的に大きな表示領域に表示され得るメイン装飾図柄と、前記メイン装飾図柄より小さい表示領域に表示され得るミニ装飾図柄と、を含み、

前記メイン装飾図柄は、視覚的要素である第 1 要素と、前記第 1 要素とは異なる視覚的要素である第 2 要素により構成され、

前記ミニ装飾図柄は、視覚的要素である第 1 要素により構成される一方で、前記第 1 要

50

素とは異なる視覚的要素である第2要素は含まず、

前記メイン装飾図柄は、その表示領域が所定の状況において移動可能である一方、前記ミニ装飾図柄は、その表示領域が前記所定の状況であっても移動せず、

前記メイン装飾図柄の変動速度の段階数は前記ミニ装飾図柄の変動速度の段階数より多く、

前記メイン装飾図柄は、第1の演出モードと第2の演出モードとで表示態様が異なる一方、前記ミニ装飾図柄は、前記第1の演出モードと前記第2の演出モードとで表示態様が共通であり、

所定の演出が表示される場合に、前記所定の演出は、前記メイン装飾図柄とは重畳表示され得るが、前記ミニ装飾図柄とは重畳表示されず、

前記所定の演出とは異なる特殊演出が表示される場合に、前記特殊演出は、前記ミニ装飾図柄と重畳表示され得るが、前記特殊演出よりも表示優先度が高く、

所定方向への発射を遊技者に促す発射位置報知表示が実行される場合に、前記発射位置報知表示は、前記メイン装飾図柄とは重畳表示され得るが、前記ミニ装飾図柄とは重畳表示されず、前記メイン装飾図柄よりも表示優先度が高く、

前記特別遊技の実行中に前記大入賞口への入球を契機に総獲得賞球数の加算表示が実行され得るとともに、前記大入賞口への入球1球を契機とする賞球数の加算表示の実行期間は、最終回の前記大入賞口の開放終了後における所定タイミングから前記特別遊技の終了までの待機期間である大当たり終了デモ期間よりも短く、

前記大入賞口への入球を契機とする賞球数の加算表示の実行中において、前記大入賞口への次の新たな入球があった場合、前記実行中の加算表示を中断して前記次の新たな入球に対応する賞球数の加算表示を実行開始し、

前記特別遊技は、前記特別遊技における複数回の前記大入賞口の開放期間の間に設定される前記大入賞口の閉鎖期間を複数回有し、

前記特別遊技においては、前記大入賞口の1回の開放期間の終了条件となる前記大入賞口への入球数である規定入球数を超える入球が前記閉鎖期間に検出された場合、前記規定入球数を超える入球を契機とする賞球数の加算表示を前記大入賞口の次の開放期間において実行可能であり、且つ、前記規定入球数を超える入球を契機とする賞球数の加算表示の実行中である前記次の開放期間において前記大入賞口への入球があった場合でも、前記次の開放期間における前記大入賞口への入球を契機とする賞球数の加算表示を実行可能であり、

前記大入賞口への入球1球に対応する賞球数の加算表示の実行期間は、複数回の前記大入賞口の閉鎖期間の1回分よりも短く、

前記加算表示は、前記最終回の前記大入賞口の開放終了後であっても実行し得ることを特徴とする弾球遊技機。

10

20

30

40

50